

サマータイムレンダ[®] × 和歌山市

Summer time rendering × Wakayama city

舞台マップ

漫画『サマータイムレンダ』の世界へ！
船に乗った瞬間から

慎平たちが見た風景を体感！

舞台は和歌山県の友ヶ島がモデル！

『サマータイムレンダ』の主人公・慎平とヒロイン・潮が過ごし眺めた島をマップ片手に散策しよう！

『サマータイムレンダ』とは？

漫画アプリ「少年ジャンプ+」にて連載され1億3000万PVを突破した、人気SFサスペンス。物語の舞台である離島・日都ヶ島は、和歌山市の友ヶ島をモデルとしている。アニメ化の他に実写化企画も進行中の話題作！



和歌山市への交通アクセス



交通のご案内

■お車で

- 阪和自動車道 泉南IC(大阪方面からのみ)から加太まで【約26km 約45分】
泉南IC⇨幡代北交差点⇨第2阪和国道⇨淡輪ランプ⇨深日中央(ロータリー)⇨大川トンネル⇨加太
- 阪神高速4号湾岸線 泉佐野南IC(大阪方面からのみ)から加太まで【約33km 約60分】
泉佐野南IC⇨双子池北交差点以降は上記と同じ
(⇨幡代北交差点⇨第2阪和国道⇨淡輪ランプ⇨深日中央(ロータリー)⇨大川トンネル⇨加太)
- 阪和自動車道 和歌山北IC(大阪方面からのみ)から加太まで【約17km 約40分】
和歌山北IC⇨県道粉河加太線⇨延時交差点⇨加太
- 阪和自動車道 和歌山ICから~加太まで【約18km 約45分】
和歌山IC⇨西汀⇨紀の川大橋⇨延時交差点⇨加太

■駐車場のご案内

友ヶ島乗船場ご利用の方 加太港駐車場 700円/日

■大阪から電車で

●南海電鉄利用

なんばより特急または急行で和歌山市駅下車。加太線乗り換え、終点加太駅下車。

●JR阪和線利用

天王寺より快速で和歌山駅下車。紀勢本線乗り換え、または和歌山バスで南海和歌山市駅へ。南海加太線乗り換え、終点加太駅下車。

サマータイムレンダの聖地・友ヶ島へは友ヶ島汽船で！



旅客運賃
大人 往復 2,200円(片道1,100円)
小人 往復 1,100円(片道 550円)
※団体割引 15人以上(要 問い合わせ)

所要時間
約20分

●加太港～友ヶ島航路 運航時刻表

●時刻表

(注：GW・夏季を除く。)

便	加太港発	友ヶ島発
1便	9:00	9:30
2便	11:00	11:30
3便	13:00	13:30
4便	16:00	16:30

ただし、1月4日～2月末日の冬季期間については土・日・祝日のみ運航。(12月29日～1月3日は運休)

●運休について

水曜日は運休
(4月29日～5月5日、7月20日～8月31日を除く。ただし、水曜日が祝日の場合は運航します。)
気象状況などにより欠航する場合があります。

●GW・夏季時刻表

(4月29日～5月5日、7月20日～8月31日)

便	加太港発	友ヶ島発
1便	9:00	9:30
2便	10:00	10:30
3便	11:00	11:30
4便	13:00	13:30
5便	15:00	15:30
6便	16:00	16:30

●荷物運賃表

	10kg未満	200円
小荷物	10kg～20kg未満	400円
	20kg～30kg未満	600円
特殊小荷物(自転車等)		800円

●臨時便の運航について

当日の状況により上記運航表に加え、臨時便を運航する場合があります。

運航・欠航状況等
航路に関するお問い合わせ先

友ヶ島汽船(株)

TEL.073-459-1333 FAX.073-488-1166
HP <http://tomogashimakisen.com/>

お問い合わせ先

和歌山市観光課

〒640-8511 和歌山市七番丁23番地
TEL.073-435-1234
FAX.073-435-1263
HP <http://www.city.wakayama.wakayama.jp/>

(一社)和歌山市観光協会

〒640-8146 和歌山市一番丁3番地
TEL.073-433-8118
FAX.073-433-8555
HP <http://www.wakayamakanko.com>

『サマータイムレンダ』コミックス全13巻 好評発売中!!

TVアニメ『サマータイムレンダ』各動画配信サービスにて配信中!!

原作：田中靖規(集英社ジャンプコミックス刊)
監督：渡辺 歩 シリーズ構成/脚本：瀬古浩司 キャラクターデザイン：松元美季





友ヶ島の
おすすめの場所
7つ紹介しちゃう!

サマタイムレンダ"×和歌山市 舞台マップ

1 友ヶ島案内センター



「野奈浦広場」にある、友ヶ島島内の案内所。キャンプが可能な時期にはここでキャンプの申し込み受付を行う。友ヶ島の玄関口である「野奈浦棧橋」からほど近く見晴らしのいい場所にあり、眼前には大阪湾が悠々と広がる。

「日都ヶ島駐在所」として登場! 慎平が二度目のループをした後、島内に潜む「影」による被害を未然に防ごうと電話した先が駐在所だった。この海岸沿いの駐在所では、駐在の凸村が仕事に励む姿が見られると見られないとか…?

2 第2砲台跡



明治時代の頃、大阪湾へ侵入しようとする敵艦に対し、真横から砲撃を加えるべく政府が設置した要撃砲台の跡地。砲弾は友ヶ島と淡路島の間にある紀淡海峡を通過する。現在は台風や風雨の影響で一部が崩れ落ちている。

風化した姿が厳かな雲田気を醸し出す。慎平が初めて「ウシオ」と出会い、凄惨な夏祭りを体験した時、「南雲竜之介」が影と戦える人物だと知る。ループ後、南雲に協力を仰ぐと、慎平がたどり着いたのがここだった。

3 第1砲台跡に向かう坂道



友ヶ島に5つあった砲台のうち、紀淡海峡に面する友ヶ島西端の断崖上に設置された「第1砲台」へと続く坂道。第1砲台は明治時代に同地区で最初に置かれた砲台であり、友ヶ島と淡路島間を通る敵艦への砲撃を目的としていた。

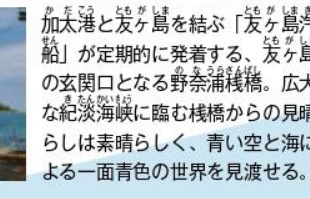
葉擦れの音が響く鬱蒼とした道。懐かしい顔ぶれに再会した南方ひづるの脳裏に浮かぶ、忌まわしい過去。砲台跡付近の地面に力なく横たわる弟の姿を前に、彼の名を必死に呼ぶ自分の声と蝉の鳴き声だけがこだまする。

4 友ヶ島汽船



加太港と友ヶ島を約20分で結ぶ、唯一の定期航路。現在は「ともがしま号」と「ラビュタ号」の2隻が運航中。乗船中に晴れていれば、だんだんと近づく友ヶ島の様子を汽船から眺めることができる。

タイムリープ前の慎平と、すべてを見てきた「ウシオ」が、日都ヶ島へ向かう船の上で相見える。語りあう二人の間にある、時空を越えたすれ違い。すれ違いを埋めるため、二人は未知の「3日間」に臨む——!



汽船を降りるとここに着くぞ!

加太港と友ヶ島を結ぶ「友ヶ島汽船」が定期的に発着する、友ヶ島の玄関口となる野奈浦棧橋。広大な紀淡海峡に臨む棧橋からの見晴らしは素晴らしく、青い空と海による一面青色の世界を見渡せる。



5 友ヶ島の松



友ヶ島の沿岸部に多く自生するクロマツ。島の気候も相まってかノビノビと育ち、様々な大きさに枝葉が広がり繁茂している。野奈浦棧橋前の広場には、特に太く背の高いものが立ち並ぶ。

松にぶら下がると。ひづるがぶら下がっていた、かなり丈夫そうなクロマツの大木。彼女曰く、ぶら下がると「考えが冴える」らしい。電話相手にも勧めている様子から何度も実践済みのようだが、初心者にとっては難しそうだ。

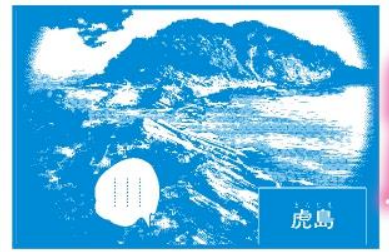
松にぶら下がるは
著名な作家…?



6 虎島



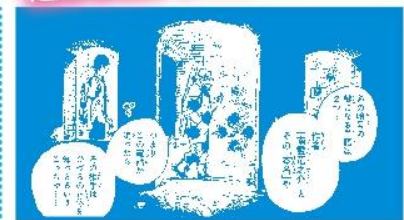
友ヶ島は4つの島からなり、「虎島」はそのうちの一つにあたる。葛城修験の始まりの地として日本遺産に登録されている。現在は入島できないが、友ヶ島汽船などの船上から、その姿を見ることができる。



仲間たちと別行動をとっていた慎平は、彼らが虎島へ向かったことを知る。ループしたことで敵の動向を知った慎平だったが、敵による罠の可能性があった。慎平は虎島へ急ぐが…。

友ヶ島と連なる
この島が激戦の
地に!

7 第3砲台跡



明治時代の友ヶ島における最主力砲台であった「第3砲台」の跡地。保存状態がよいので、ほぼすべての施設を見学できる。現在はフォトスポットとして人気があるが、場所によっては暗いところもあるため見学時は注意が必要だ。

趣ある暗がりを隅々まで探索! ひづるの協力者・根津銀次郎に連れられ、慎平は竜之介に会うべく砲台跡の内部へ。タイムリープをしたために「南雲竜之介」の本名を知っていた慎平を怪しむ根津。根津の信頼を得るために慎平がとった行動とは…?

